

みずな（京菜、水菜、京水菜等） に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター
【令和6年8月1日現在】

<殺菌剤>

薬剤名	対象病害虫							希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード	
	立 枯 病	白 さ び 病	尻 腐 病	根 こ ぶ 病	軟 腐 病	根 腐 病	う ど ん こ 病								
タチガレン液剤	●							500倍 (3ℓ/m ²)	は種時	1回	土壌灌注	ヒドロキシイソキサゾールカリウム	1回	32	
ダコニール1000	●							1000倍 (3ℓ/m ²)	は種時	1回	土壌灌注	TPN	1回	M05	
ネビジン粉剤				●				20~30kg/10a	は種又は定植前	1回	全面土壌混和	フルスルファミド	1回	<非結球あぶらな科葉菜類(なばな類を除く)該当>	36
								20kg/10a	は種又は定植前	1回	作条土壌混和				
リドミル粒剤2		●						10kg/10a	は種時又は定植時	1回	全面土壌混和	メタラキシル	2回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)	4	
リゾレックス粉剤			●					30kg/10a	定植前	1回	土壌混和	トルクロホスメチル	1回	14	
ヨネポン水和剤		●			●			500倍 (100~300ℓ/10a)	収穫14日前まで	4回以内	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅	4回以内	<非結球あぶらな科葉菜類(のざわなを除く)該当>	M01
アミスター20フロアブル		●						2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫7日前まで	2回以内	散布	アゾキシストロビン	3回以内(但し、粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	11	
ランマンフロアブル		●						2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫3日前まで	3回以内	散布	シアゾファミド	3回以内	<非結球あぶらな科葉菜類(なばな類を除く)該当>	21
フロンサイド粉剤				●				30kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	フルアジナム	1回	29	
ユニフォーム粒剤		●						9kg/10a	は種前又は定植前	1回	全面土壌混和	アゾキシストロビン	3回以内(但し、粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	11	
												メタラキシルM	2回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)	4	
ジーファイン水和剤		●			●			1000倍 (150~500ℓ/10a)	収穫前日まで	-	散布	炭酸水素ナトリウム	-	NC	
							●	750~1000倍 (150~500ℓ/10a)	収穫前日まで	-	散布	無水硫酸銅	-	<野菜類(なすを除く)該当>	M01

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

みずな（京菜、水菜、京水菜等） に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和6年8月1日現在】

<殺虫剤>

薬剤名	対象病虫害									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード		
	ア ブ ラ ム シ 類	ム シ ノ ミ ハ	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ヨ ト ウ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	類 ハ モ グ リ バ エ	シ ヤ イ ゾ ウ ム	シ ヤ イ ゾ ウ ム								その他 病虫害	
ラグビーMC粒剤										ネコブセンチュウ	20kg/10a	は種前	1回	全面処理土壌混和	カズサホス	1回	1B	
アドマイヤーフロアブル	●										4000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布	イミダクロプリド	2回以内	4A	
アルバリン粒剤/ スタークル粒剤	●	●									6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	ジノテフラン	3回以内(但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内) <非結球あぶらな科葉菜類(チゲンサイを除く)該当>	4A	
スタークル顆粒水溶剤	●										3000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布	ジノテフラン	3回以内(但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内) <非結球あぶらな科葉菜類(チゲンサイ、畑わさびを除く)該当>	4A	
		●									2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布				
フォース粒剤		●								ネキリムシ類	4kg/10a	は種時	1回	全面土壌混和	テフルトリン	1回	3A	
ダイアジノン粒剤5										ケラ	6kg/10a	は種時	1回	全面土壌混和	ダイアジノン	1回	1B	
										ネキリムシ類	6kg/10a	出芽時	1回	土壌表面散布				
		●								ネキリムシ類	6kg/10a	は種時又は定植時	1回	全面土壌混和				
アディオオン乳剤	●									●	ダイコンハムシ	2000~3000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	ペルメトリン	3回以内	3A
				●								2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布			

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺虫剤> みずな

【令和6年8月1日現在】

薬剤名	対象病害虫									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	ア ブ ラ ム シ 類	ム シ ジ ノ ミ ハ	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ヨ ト ウ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	類 ハ モ グ リ バ エ	シ ヤ サ イ ゾ ウ ム	其 他 病 害 虫							
マトリックフロアブル					●					2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫14日前まで	3回 以内	散布 (昆虫成長制御剤)	クロマフェノジ ド	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	18
ダントツ水溶剤	●									2000~4000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	クロチアニジン	4回以内(は種時の土壌混和は1回以 内、散布は3回以内)	4A
モスピラン水溶剤	●	●							カブラハバチ	4000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫7日前まで	1回	散布	アセタミプリド	1回 <非結球あぶらな科葉菜類(フゲ'ンサイを除 く)該当>	4A
アフーム乳剤				●	●	●	●	●	ハイマダラノメイ ガ、ハスモンヨト ウ	1000~2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	エマメクチン安 息香酸塩	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類(なばな類、のざ わな、フゲ'ンサイ、こまつなを除く)該当>	6
カスケード乳剤				●	●				マメハモグリバエ	2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布 (昆虫成長制御剤)	フルフェノクス ロン	2回以内 <非結球あぶらな科葉菜類(なばな類を除 く)該当>	15
スピノエース顆粒水和 剤				●	●	●	●	●	ハイマダラノメイ ガ	5000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫3日前まで	1回	散布	スピノサド	1回	5
プレバソンフロアブル 5				●					ハモグリバエ	2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	クロラントラニ リプロール	2回以内 <非結球あぶらな科葉菜類(アザ、非結球は くさい、なばな類を除く)該当>	28
ウララDF	●									4000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	フロニカミド	2回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	29
トランスフォームフロ アブル	●									2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	スルホキサフロ ル	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	4C
モスピラン粒剤	●			●						3kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	アセタミプリド	1回 <非結球あぶらな科葉菜類(フゲ'ンサイを除 く)該当>	4A
コテツフロアブル				●						2000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫14日前まで	1回	散布	クオルフェナピ ル	1回 <非結球あぶらな科葉菜類(こまつな、フゲ' ンサイ、なばな類、非結球はくさい、非結球ア ベツを除く)該当>	13
モスピラン顆粒水溶剤	●	●							カブラハバチ	4000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫7日前まで	1回	散布	アセタミプリド	1回 <非結球あぶらな科葉菜類(フゲ'ンサイを除 く)該当>	4A
エコマスターBT					●				オオタバコガ、ハ スモンヨトウ	1000倍 (100~300ℓ/10a)	発生初期 但し、収穫前日まで	-	散布	B T	- <野菜類該当>	11A
				●	●				シロイチモジヨト ウ	1000~2000倍 (100~300ℓ/10a)	発生初期 但し、収穫前日まで	-	散布			
ブロフレアSC		●	●	●						2000~4000倍 (100~300ℓ/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	ブロフラニリド	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	30

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

みずな（京菜、水菜、京水菜等） に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター
【令和6年8月1日現在】

<除草剤>

薬剤名	対象雑草	使用量・薬量 (希釈水量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
トレファノサイド粒剤 2.5	一年生雑草 (ツユクサ科、カヤツリグサ 科、キク科、アブラナ科を除 く)	3kg/10a	は種直後	1回	全面土壌散布	トリフルラリン	1回 (作物名称) みずな (直播栽培)	3
トレファノサイド乳剤	一年生雑草 (ツユクサ科、カヤツリグサ 科、キク科、アブラナ科を除 く)	150~200ml/10a (100ℓ/10a)	は種直後	1回	全面土壌散布	トリフルラリン	1回 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	3
ナブ乳剤	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	150~200ml/10a (100~150ℓ/10a)	雑草生育期イネ科雑草 3~5葉期 (但し収穫7日前まで)	1回	雑草茎葉散布又は全面 散布	セトキシジム	1回 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	1
タッチダウンiQ	一年生雑草	250~500ml/10a (25~50ℓ/10a)	耕起7日以前 (雑草生育期)	1回	雑草茎葉散布	グリホサートカリ ウム塩	1回 <野菜類該当>	9
ラウンドアップマックス ロード	一年生雑草	200~500ml/10 a (通常散布) 50~100ℓ/10a (少量散布) 5~50ℓ/10a	耕起前まで (雑草生育期)	1回	雑草茎葉散布	グリホサートカリ ウム塩	1回 <野菜類該当>	9

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。